

まちの保育園 吉祥寺の子育て情報誌

まちのごどもと

第二号…二〇二四年一〇月



1歳児…絵本の楽しみ方

まちの保育園吉祥寺の絵本コーナーは、一人ですっきり読んだり保育者に読んでもらったりと、ひと息つける空間になっています。季節や月毎に絵本を入れ替えているのですが、さて子どもたちはどんな絵本を手にとっているのでしょうか？



生き物や食べ物が身近に感じられて、関心も大きいようで『かえるさんくわっくわっ』と『くだもの』が人気。『かえるさん』の本はページを開くと「びよーん」と跳ぶ姿を言葉にしたり、「かえるさーん」と呼びかけ、みんなで『かえるの歌』を身振り手振りをつけて歌い始めます。絵本を通じて、友だちと一緒にかえるの世界を表現し、楽しむ姿は1歳児クラスらしくほほえましいです。

『くだもの』の本は、給食に出てくるりんごやバナナが描かれていて「さあ、どうぞ」の言葉を覚え、そのまま絵本の中のくだものを、指でつまんで口へ運んで「バクリッ！モグモグ！」その表情はとっても美味しそう。日々の食事の体験が基となり「こんな味だったかな？」『美味しかったな』と、想像力も豊かになっていますね。おやつで本物のくだものを食べたあとに

絵本コーナーに向かい、ページを広げて「あったねー、たべたねー」と見せてくれたりもします。絵本の中のものとお実物がしっかり繋がっているのが感じられます。

絵本が大好きな1歳児クラスは、「絵本を読むよ」と声をかけると、畳のスペースへ集まってきます。最近では簡単なストーリーのある絵本や、紙芝居も、集中して見えています。一人、自分のペースで読む楽しさ、一対一で大人に読んでもらう嬉しさ、みんなで見るおもしろさなどを感じながら、様々な絵本や物語に触れて、個々の感性が育ってくれるといいなと思います。

0歳児…今、人気なのが…

大好きな絵本のなかでも、最近のNo.1は『くだもの』です。バナナやイチゴなど、知っている果物が出てくると、「あーん」「ばく」と、絵からつまんで口へ運び、食べる真似をするようになってきています。



やりとりをしながらの真似っこ遊びと、毎日の食事の経験が学びとなり、繋がっているのだろうと感じています。言葉の理解も進み、「ぞうさん♪」を歌うと、ぞうの絵本を持ってきたり、「くまさんくまさん♪」のわらべうたを歌うと、くまのぬいぐるみを持ってきたりと楽しいやりとりが増えています。繰り返すことが、次のやりとりや言葉に繋がっていくように、声かけやかかわりを大切にしていきたいと思っています。

